

# 最後の七つの災害

## “最後の七つの災害”の学びの前に

- ◆ 災害の前に起こる3つの出来事をよく学びましょう。
- ◆ 「何が起こるか」だけに集中するのではなく、「災害の順序」にも注目しましょう。
- ◆ 旧約聖書と照らし合わせながら学ぶようにしましょう。

### “最後の七つの災害”とは

- ◇ 獣の刻印を押された全ての人々を襲う災害
  - 災害は全世界を巻き込みます。(黙 16:2; 13:16)
  - \* 獣の刻印についてはスタディガイド「神の印と獣の刻印」、「海からの獣」、そして「地からの獣」を参照してください。
- ◇ 災害は連続して起こり、また累積します。
- ◇ 地球を天地創造以前の状態に部分的に戻す—それは形がなく、またむなしかった(エレミヤ 4:19-27; 創 1:2)

### “最後の七つの災害”の前に起こる3つの出来事

1. 三天使の使命が全世界に宣べ伝えられる(黙 14:6-12)
2. 神の印と獣の刻印のどちらかが全ての人々に押される(黙 14:14-19)
3. 恩恵期間の終了[恵みの扉が閉じる](黙 15:5-8; 22:11)

ノアの箱舟(創 6-9章)

ソドムとゴモラ(創 19章)

エジプトを襲った十の災害(出 7-12章)

エリヤ vs バアルの預言者(王上 18章)

バビロンの最期(ダニエル 5章)

旧約聖書参照箇所

### バビロンとエルサレムの運命

#### バビロン

1. 獣に従うバビロンの人々(黙 13:3)
2. バビロンの三つの悪霊(黙 16:13)
3. 三つの悪霊、人々を集める(黙 16:14)
4. 獣の刻印を押される人々(黙 13:16)
5. 都の外で踏まれる酒ぶね(黙 14:20)
6. 人々の運命：火と硫黄の池(黙 14:10-11; 20:10)

#### エルサレム

1. 小羊に従うエルサレムの人々(黙 14:4)
2. 三位一体の神様(黙 1:4-5)
3. 三天使、人々を集める(黙 14:6-12)
4. 神の印を押される人々(黙 14:1)
5. 都の中に集められた収穫物(黙 14:15)
6. 人々の運命：ガラスの海(黙 15:2)

# 最後の七つの災害

## 最後の七つの災害と神の民

神の印を押されたものたちは、死ぬことがなくそして神様の恵みによって守られます。災害が彼らに影響を与えることはないでしょう（黙 7:1-4）。

不義な者はさらに不義を行い、汚れた者はさらに汚れたことを行い、義なる者はさらに義を行い、聖なる者はさらに聖なることを行うままにさせよ。（黙 22:11）

その時あなたの民を守っている大いなる君ミカエルが立ちあがります。また国が始まってから、その時にいたるまで、かつてなかったほどの**悩みの時**があるでしょう。しかし、その時あなたの民は救われます。すなわちあの書に名をしるされた者は皆救われま  
す。（ダニエル書 12:1）

## 黙示録 12 章 17 節～20 章までの流れ

- 黙 12:17: 最後の戦いのアウトライン
- 黙 13: 獣とその像が、神の民との最後の戦いに備えて人々を集める
- 黙 14:1-5: 獣とその像に**勝利を得た**神の民
- 黙 14:6-13: 世界的メッセージが、人々は「獣の刻印を受けたもの」と「神の印を受けたもの」の二つに分けられると警告する
- 黙 14:14-19: ついに二つに分けられる人々
- 黙 14:20: 都の外で踏まれる
- 黙 15:2-4: 新しいエルサレムのシオンの山にいる**勝利を得た**神の民
- 黙 15:5-8: 天の聖所が煙で満たされた時、恩恵期間の終了が訪れる
- 黙 16: “最後の七つの災害”が起こる
- 黙 17-18: 第六と第七の災害の詳細
- 黙 19:1-10: 天国にいる**勝利を得た**神の民
- 黙 19:11-21: イエス様と天の軍勢が酒ぶねを踏みに来る
- 黙 20: 千年期

# 最後の七つの災害

	聖句		結果	鉢を傾ける場所	七つのラッパ
第一の災害	16:2	ひどい悪性のでき物		地	地 [三分の一] (8:7)
第二の災害	16:3	- 血ようになる海 - 全ての海の中の生き物が死ぬ		海	海 [三分の一] (8:8-9)
第三の災害	16:4-7	- 血になる川と水の源		川と水の源	川と水の源 [三分の一] (8:10-11)
第四の災害	16:8-9	- 火で人々を焼くことを許された太陽	- 神の御名を汚す - 悔い改めることをしない	太陽	太陽と月と星 [三分の一] (8:12)
第五の災害	16:10-11	- 暗闇	- 神をのろう - 悔い改めることをしない	獣の座	底知れぬ穴 (9:1-11)
第六の災害	16:12-16	- 枯れる大ユウフラテ川 - 龍と獣とにせ預言者の口から出てくる三つの汚れた霊が現れる	- 三つの汚れた霊は、最後の戦いのためにハルマゲドンに獣の刻印を受けた人々を集める	大ユウフラテ川	大ユウフラテ川 (9:13-21)
第七の災害	16:17-21	- 大きな声 → 「事はすでに成った」 - かつてなかったようないなずまと激しい地震、消える島々と山々、大きな雹が降る	- 神をのろう	空中	- 大きな声 → 「この世の国はキリストの国となった」 - いなずま、声、雷鳴、地震、大粒の雹が起こる (11:15-19)

## 第五の災害

～獣とは何者か？

➤ 黙示録13章の「海からの獣」とダニエル書7章に出てくる「小さな角」と同じ (黙 13:5; ダニエル 7:25)

\*詳しくは、スタディガイド“海からの獣”と“神の印と獣の刻印”参照

～獣の座とは？

➤ 獣の支配の中心

～獣の国とは？

➤ 世界中 (黙 13:16)



# イスラエルの民

第六と第七の災害を深く学ぶ前に、昔のイスラエルと終わりの時のイスラエルについて学んでみましょう。

## イスラエルの民と割礼

第六の災害を学ぶ前に、“二つのイスラエルの民”について学んでみましょう。

“昔のイスラエル”：イスラエルの民（創 17:9-11）

➤ 肉の割礼

➤ 肉体を落とす

“終末（靈的）のイスラエル”：教会（1コリ 3:16; 1ペテ 2:5）

➤ キリストの割礼（コロサイ 2:11）

➤ 罪の性質を落とす

◇ イエス様を救い主と信じて、生まれ変わる

## 終わりの時のイスラエルの民に対する力

ハルマゲドンの準備のために働く3つの強大な力（黙 16:13）

かえるのような三つの汚れた霊

◇ 龍

➤ サタン（黙 12:9）

◇ 獣

➤ 海からの獣（黙 13:1-10）

◇ ローマ教皇権

\*詳細は資料「海からの獣」、「神の印と獣の刻印」参照

◇ にせ預言者

➤ 背教したプロテスタント（地からの獣）（黙 13:11-18）

◇ アメリカ

## 昔のイスラエル・終わりの時のイスラエル

預言の理解の鍵：

1. 預言はローカルで、また世界規模で成就します。
2. 教会=現代のイスラエル

昔のイスラエル		靈的なイスラエル
エレミヤ 50:33,34	バビロンに迫害された	黙 17:6
ダニエル 3:1-13	偶像を拝まされた	黙 13:15
ダニエル 4:30	大いなるバビロン	黙 17:5
エレミヤ 51:13,14	多くの水の上に座す	黙 17:1
イザヤ 44:27,28	ユウフラテ川が枯れ、助けられた	黙 16:12
エレミヤ 51:6-8	バビロンから離れ去るように、との勧告	黙 18:4
イザヤ 45:1	解放する者を、メシア（油注がれた者）と呼ぶ	ダニエル 9:25
イザヤ 41:2,25	解放する者は、東から来る	マタイ 24:27; 黙 16:12

# 枯れた大ユウフラテ川

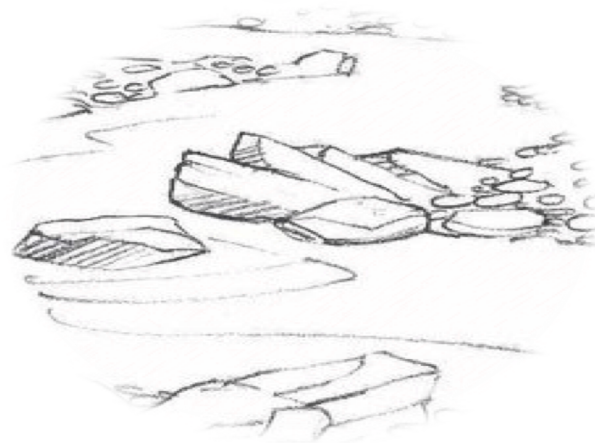
イエス様が生まれる六百年ほど前、神様が預言者エレミヤに示された通り、バビロン王国はまさにイスラエルの人々を苦しめている真っ最中でした（エレミヤ 25:11）。70年もの間です！バビロン王国は、巨大な城壁とユウフラテ川で作った堀で囲まれていて、難攻不落の王国に見えました。しかしそのバビロンによる支配も、東からやってきた王、クロス王によって終わりを告げます。紀元前 539 年 10 月（ダニエル 5 章；エレミヤ 51:59-64）、クロス王は、バビロンを流れるユウフラテ川の上流から水の流れを変え、堀の水位を下げました。そして、兵士たちは堀を渡り、難なくバビロンを攻め落としたのでした。このことは、イザヤ書に預言されていたのです（イザヤ書 41:2; 44:27; 45:1）。

昔のイスラエルの民がした経験と同じことが、世の終わりの時にも起こるでしょう。  
終わりの時のイスラエルの民（教会）も、大ユウフラテ川が枯れることによって、遂にバビロンから助け出されるのです。

## ユウフラテ川が枯れる??

水：民族、群衆、国民、国語（黙 17:15）

水が枯れる：バビロンに従っていた人々が、バビロンの支持をやめるでしょう。また「おのおのその隣り人を捕え、手をあげてその隣り人を攻める」と書いてあります（黙 17:1; ゼカリヤ 14:13）。





# ハルマゲドンと東からの王

ハルマゲドンは、天地創造の前から続くキリストとサタンの大争闘におけるクライマックスです。

## サタンの目的

『わたし（サタン）は天にのぼり、わたしの王座を高く神の星の上におき、**北の果なる集会の山**に座し、雲のいただきにのぼり、いと高き者のようになろう』（イザヤ 14:13）

サタンの目的、それは神様の御座に座ること、つまり神様のようになることでした。

## 「北の果なる集会の山」はどこ？

シオンの山（詩篇 48:2; 9:11）

\*北には字義通りの「北の方角」と「天」という意味があります。

## 「シオンの山」とは？

神様が、イスラエルの民を集め、集めた民を守られる場所（ヨエル 2:15,16,32; 3:11,12,16; 黙 14:1）

## サタンは何をする？

人々をハルマゲドンに集め、戦いの準備をする【第六の災害】（黙 16:14,16）

## ハルマゲドン=シオンの山

ハルマゲドン：“har moed”（ヘブライ語）= **集会の山**

サタンは人々を集会の山、つまりシオンの山に集めます。それは、神様の御座に座ろうとするサタンの最後の抵抗です。

## 東

エルサレムの町の周りには、北にシオンの山が、そして東には厳しい砂漠が広がっていました。そのため、東からエルサレムに向けて旅をしてくる人々は、通ることのできない砂漠のために、北にあるシオンの山を通してエルサレムに行きました。これが、聖書の中で「東」と「北」が、神様からくる者の方角を指す理由です。

◇ また、もうひとりの御使が、生ける神の印を持って、**日の出る方から上って来るのを見た…**（黙 7:2）

◇ ちょうど、いなづまが**東から西に**ひらめき渡るように、人の子も現れるであろう。（マタイ 24:27）

◇ その後、彼はわたしを門に導いた。門は**東に**面していた。その時、見よ、イスラエルの神の栄光が、**東の方**から来たが、その来る響きは、大水の響きのようで、地はその栄光で輝いた。（エゼキエル 43:1,2）

## 東からの王

東からの王は、「東」が象徴するように「神様からくる者」を表しています。東からの王は、まさに黙示録 19章に書かれている「イエス様と天の軍勢」のことなのです。

そして、**天の軍勢が、純白で、汚れのない麻布の衣を着て、白い馬に乗り、彼に従った。その着物にも、そのももにも、「王の王、主の主」という名が**しるされていた。（黙 19:14,16）